

苗の充実度が平年より低い！浅水管理を徹底して生育量を確保！ 除草剤は適期に散布！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

5月23日発表の2週間気温予報では、24日から31日の気温は平年並みから低い見込みです。

◎苗の生育

農業総合研究センターの調査によると、苗の乾物重は小さく、苗の充実度*は「はえぬき」「つや姫」で低く「雪若丸」で平年並みとなっています。

*充実度（乾物重/苗丈）：この値が高いほど、苗質が良いことを示す

主要3品種の苗の生育（農業総合研究センター調査）

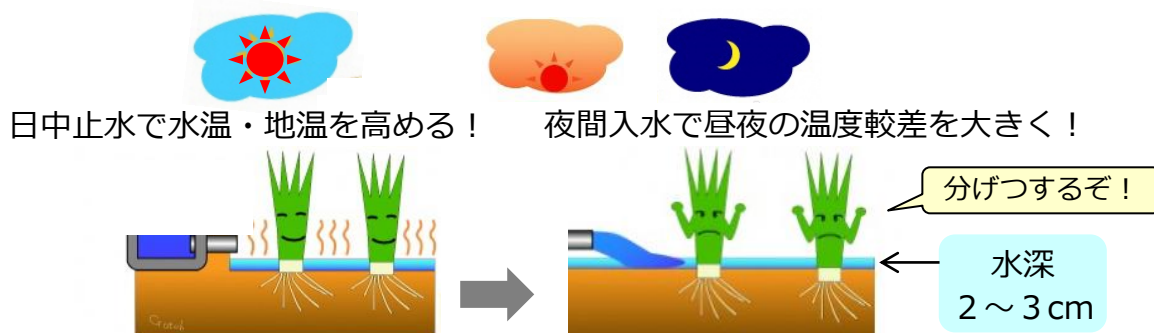
※カッコ内数値：平年差・比

品種	場所	苗丈(cm)	葉数(枚)	乾物重(g/100本)	充実度(mg/cm)
はえぬき	山形市みのりが丘	14.3 (92)	3.2 (-0.2)	2.02 (89)	1.33 (94)
	鶴岡市藤島	11.9 (102)	2.0 (-0.7)	1.45 (92)	1.21 (91)
雪若丸	山形市みのりが丘	13.5 (99)	3.3 (±0.0)	1.96 (99)	1.45 (99)
	鶴岡市藤島	10.3 (96)	2.2 (-0.6)	1.52 (96)	1.48 (101)
つや姫	山形市みのりが丘	15.3 (100)	2.7 (+0.2)	1.87 (88)	1.24 (86)
	鶴岡市藤島	11.4 (95)	2.0 (-0.5)	1.35 (89)	1.18 (93)

◎活着後は速やかに浅水管理へ移行！

今年は育苗期間の日照時間が少なかった影響で、平年に比べて苗の充実度が低い傾向にあり、分けつが進まないおそれがあります。初期茎数を確保するため、例年以上に圃場の状況をよく確認し、適切な水管理をすることが重要です。

水深が深いままになっていませんか？活着後は速やかに水深2～3cmの浅水管理とし、日中止水、夜間かんがいを徹底して分けつを促しましょう。



◎除草剤は使用時期を確認して遅れずに散布！

昨年の秋はノビエ等が残った圃場が多く見られました。残存雑草は減収だけでなく斑点米カメムシ類の多発や倒伏の原因となります。除草剤の効果を確実に発揮させるため、雑草の発生状況と薬剤の使用時期をよく確認して、適期内に散布しましょう。散布時は3～5cmの湛水状態とし、散布後7日間は止水とします。

STOP! 農作業事故

春季農作業事故防止運動強化期間(4/1～6/10)